

自然編目次

刊行のことば	穂高町長 丸山高義
町誌編纂に寄せて	穂高町教育長 清澤久
例言	

第1章 総論

I 北アルプス東山麓の町	3
1 ランドサットから見た長野県と穂高町	3
2 高山と川に囲まれた穂高町	4
II 山と緑と清流のまち	6
1 山紫水明	6
2 凌ぎよい夏と寒い冬	7
3 豊かな生物	8

第2章 地形と地質

I 穂高町の地形と地質のあらまし	11
1 新しい地質時代に隆起してきた北アルプス	11
2 糸魚川—静岡構造線とフォッサ・マグナ	12
II 穂高町の地形	13
1 日本の屋根・北アルプス	13
2 北アルプスから流下する河川	14
3 日本でも代表的な穂高町の扇状地	17

III 北アルプス側の山地の地質	21
1 浅川山をつくる中・古生層	21
2 穂高町の中・北部の山地をつくる花崗岩	23
3 表銀座連峰の地形と地質の見学	27
IV 穂高町の平坦部の地質	34
1 ボーリングで探った盆地のなかみ	34
2 穂高町とその周辺における第四紀層の層序と分布	37
3 クリスタル・アッシュの降灰	39
V 活断層と地震活動	40
1 穂高町とその周辺の活断層	40
2 地震活動	43
3 地震動による地盤の揺れ方	44
VI 北アルプスの隆起と松本盆地の形成過程	46
—穂高町の大地の生いたち—	

第3章 陸水と土壌

I 穂高町の陸水のあらまし	51
II 産業を支える河川及び堰	53
1 アルプスに源を発する河川	53
2 堰	55
3 河川の水質	55
III 産業を支える豊富な地下水	73
1 穂高町の井戸と湧水地帯	73
2 地下水利用現況	74
3 穂高町の揚水による地下水利用状況	74
4 御法田の湧水	75

IV 温泉	78
1 泉温の高い中房温泉群	78
2 中房温泉の化学成分	80
3 温泉の利用	81
V 土壌	82
1 生活、生産地帯の大部分は沖積層	82
2 長野県耕地土壌図よりみた穂高町の土壌	83
3 地質柱状図	86
 第4章 気候	
I 内陸性気候をしめす穂高町の気候	91
II 穂高町の各月の気候とその特徴	93
III 気温較差の大きい穂高町の気候	102
1 気温較差の大きい季節	102
2 太平洋側と日本海側との中間値を示す穂高町の気温較差	102
3 安曇平と穂高町の気温較差	103
4 穂高町内各地区の気温較差	104
IV 湿度が低く乾燥した気候	106
1 3月から5月は乾燥期	106
2 避暑に適した夏期の低い湿度と微風	106
V 冬に多い快晴	107
VI 安曇平の風	107
1 地形によって生じる地域風	107
2 年間をとおして多い北北西・北西の風	109
3 穂高町内の各地域の風	111

VII 豊富な湧水と河川による霧	113
1 安曇平は霧の多い地域	113
2 霧の発生状況	114
3 霧の発生と移動	114
VIII 西部山岳地帯の気候	115
1 山の天気	115
2 高山の気温	116
3 山岳における雨と風	117
4 激しい雷雨	118
IX 雑象	119
1 生育中の果樹、野菜に被害を与える晩霜	119
2 7月、8月に多い雷雨	119
3 ヒヨウ害	120
4 生物季節	121

第5章 動物

I 哺乳類	125
1 ニホンカモシカ	125
2 絶滅寸前のニホンツキノワグマ	127
3 人里近くにも現れるようになったニホンザル	128
4 小さな食害獣ノウサギ	129
5 ホンドキツネ	130
6 ホンドタヌキ	130
7 ホンドテン	131
8 その他の哺乳動物	131
II 鳥類	133
1 集落・農耕地の鳥	134
2 多くの種類が観察された河川	137
3 林の鳥	141

4 高山の鳥	144
III 爬虫類と両生類	145
1 爬虫類の分布と特徴	145
2 両生類の分布と特徴	146
IV 魚類	148
1 清流に住むカジカ	148
2 数が少なくなったスナヤツメ	148
3 婚姻色のあざやかなウグイ	149
4 溪流魚の代表イワナ	149
V 昆虫類	150
1 豊かな水をめぐる昆虫たち	151
2 鱗翅目—蝶と蛾	154
3 鞘翅目—甲虫のなかま	161
4 直翅目—バッタ、コオロギ	163
5 半翅目—セミのなかま	163
6 膜翅目—ハチ、アリのなかま	164
VI 動物と私たちの生活	165
1 天蚕—ヤママユガ	165
2 スズムシ	166
3 樹木の大敵アメリカシロヒトリ	166
4 ツツガムシ (恙虫)	167
第6章 植物	
I 穂高町の植物と私たちの生活	171
II いつも見なれている身近な植物	172
1 庭の雑草	172
2 路傍の植物	174
3 耕作地の植物	177

目 次

4	川原・堤防・乾燥地の植物	182
5	湧水地・湿地の植物	184
III	山に行くと見られる植物	185
1	山麓・浅山の植物	185
2	山地の植物	187
IV	登山をしないと見られない植物	189
1	亜高山帯の植物	189
2	高山帯の植物	191
V	薬になる植物と毒になる植物	194
1	薬用植物	194
2	有毒植物	197
VI	食べられる野生の植物	199
1	山菜と木や草の実	199
2	キノコ	203
VII	外国からやってきた植物	205
VIII	地域の人の間だけで通用する植物の呼び名	207
	執筆分担	
	あとがき	
	編纂委員名簿	
	刊行会名簿	